

日本看護歴史学会 会報

日本看護歴史学会
第9号
1991年5月31日

保健婦五〇年に寄せて

亀山美知子

本年は、昭和一六年（一九四一）に保健婦が誕生してから、丁度五〇年目にあたる記念すべき年である。

もともと、昭和一六年に保健婦誕生の起源を求めた根拠というのは、その年の七月一〇日付で「保健婦規則」が制定されたからであり、保健活動にかかわる看護婦や産婆が登場したのは、さらに二〇年ばかり前の大正期まで溯らなければならぬ。

大正期は世界的な公衆衛生生活の幕明け時代であった。それは一九一四、一五年（大正三、四）の第一次世界大戦に起因する。大戦

後、欧州各国は自国民の疲弊に気づいたのである。国民の疲弊はそのまま国力の低下につながる。軍

勢力としての兵力の増強も必要であったが、それ以上に戦後復興のための労働力の確保という問題もまた急務であったといえる。そのため

の保健政策の一環が、公衆衛生事業にかかわる看護婦の養成であった。当時、すでに結核撲滅事業に取り組んでいた万国赤十字連盟に対して協力を求めた国際連盟は、一九二〇年（大正九）に第一回公衆衛生看護婦講習会をロンドンで開催することに決定し、各国にその

参加を呼びかけたのだった。これに呼応し、日本赤十字社は自社看護婦の参加を企画したものの、時間的な余裕がなく、同社は翌年の第二回講習に全国の看護婦の中から語学力などを含めた有能な候補者を選出し、ロンドン大学のベッドフォード・カレッジに派遣した。その第一号となったのが田淵政代であった。続いて翌年派遣されたのが井上なつゑである。二人は、その後、体操の指導などを含めた公衆衛生活動に取り組むこととなる。

一方、これと相前後して聖路加国際病院もまた母子保健事業をはじめとする訪問看護事業に着手した。さらには、関東大震災後の救護活動には恩賜財団済生会なども被災者に対する巡回看護事業に取り組み、いわば日本型の保健事業が萌芽した時代であったともいえる。同様のことは全国各地でも起こりはじめ、農村・漁村などで地道な活動を続ける看護婦や、巡回産婆として生活困窮者の援助活動に参加する産婆の姿もみられるようになった。

こうして各地で公衆衛生活動にかかわった看護職は、百を超える名称、不統一な資格、待遇の中で黙々と人びとの健康増進のために

働き続けることになったのである。

昭和期は大正デモクラシー期後半、日中戦争の開始、と微妙な世相の中に歩み出した。その中で、聖路加の平井雅恵は東京市の公設保健所（京橋館）の初代の館長の地位に就任した。昭和一〇年（一九三五）のことだった。

だが、徐々に準戦時下体制への傾斜が進み、軍が社会保健省案を提出し、結果的には昭和一三年に厚生省の誕生をみ、すでに施行されていた「保健所法」中の保健婦の誕生は時間の問題となりはじめた。戦時下、ついに国策の一環として保健婦が昭和一六年、制度上登場するに至ったのである。

さて、五〇年後の今日、一九七八年のアルマ・アタ宣言以来、プライマリ・ヘルス・ケアは、西暦二〇〇〇年までに世界中の人びとに良好な生活を、という人道的目標をめざして国際的な活動の展開がなされている。高齢化社会の到来、低医療費政策への転換を迫られる先進国と、経済的不均衡にあえぐ後進諸国。この新たな非常事態の中で、いずれも保健婦の活動は注目されるものとなった。今こそ、その歴史の中から多くの教訓が求められる時代だといえよう。

日本看護歴史学会第五回大会開催のおしらせ

巻頭言でもおしらせしたとおり本年は日本の保健婦が誕生してから五〇年にあたることを記念し、昨年の大会で予告されたように、「保健婦五〇年記念」をメイン・テーマとして企画いたしましたので、会員外の方々にも保健婦の歴史に関心をお持ちを頂けるようお願い頂きたいものです。

また、これまで本会の大会は関西・関東地区で交互に開催されて参りましたが、今回はその中間点である名古屋で開催されることになり、同地の会員である大平政子氏、長川トミエ氏、山田重子氏ほかの方々にお世話になることになりました。

第五回大会開催日程

会場 国立名古屋病院管理棟
五階講堂と会議室
名古屋市中区三の丸四一
一
（〇五二）一九五一一一一一
交通 地下鉄藤ヶ丘方面「栄」下車、同名城線乗り換え、大曾根方面「市役所」下車

徒歩約二分。（会場案内図などは、次回詳報予定）
期日 八月二四・二五日（土・日）
参加費 四千円（両日有効）

第一日目（八月二四日・土）

12時開場・受付開始
13時～14時30分 講演
元聖路加看護大学 前田アヤ氏
15時～16時 研究発表
16時～17時 総会
18時～20時 懇親会

第二日目（八月二五日・日）

10時～12時 分科会
13時～14時 分科会活動報告
14時30分～16時 講演
元大阪大学公衆衛生学教授
丸山 博氏

※ 今回の大会に参加を予定される方は、会場の整理の都合上、御参加の有無、出席の場合は二日目の食事の有無、分科会のテーマなどについて、事務局まで御一報下さい。

研究発表を募集します

来る第五回大会第一日目の研究発表会の報告者を募集いたします。奮って御応募下さい。

応募要領

◆ 研究テーマ、レジュメを原稿用紙（四〇〇字）二枚以内にまとめ、本会事務局宛に郵送のと。

◆ 募集締切日 一九九一年六月三〇日（当日消印有効）

◆ 採否の発表 本会報第十号紙上。および、本人通知予定。

◆ なお、採用された研究内容であっても、査読員五名の協議のうえ、テーマ・内容等についてのコメントを行なう場合がありますので、予め、御留意下さるようお願いいたします。

◆ また、研究発表の時間は、発表者数で一時間を割ったものとします。（質疑応答の時間を含む）

◆ 応募資格 本会会員であること。

分科会、話題提供へのお誘い

現在、七分科会が活動してま。今年の目標は、新しい研究領域の分科会が誕生することです。この研究テーマの下に集まりましょうと、ぜひ名のりをあげて下さい。申し込みは左の通りです。

内容 1. 氏名

2. 研究テーマ

3. 要旨と呼びかけ

一〇〇字以内

期日 6月30日まで

宛先 〒338 浦和市上大久保519

埼玉県立短期大学 渡部 尚子

◆ 保健婦五〇年記念テレカ ◆

日本看護歴史学会では、去る一九八八年、日本に近代的看護婦が誕生して百年になるのを記念し、テレホンカードを発行いたしました。今年も「保健婦五〇年」を記念し、再びテレホンカードを作製・発売することになりました。出来上りましたら、あらためて御紹介いたします。

テレカ五〇度数 予価九百円

日本看護歴史学会 1989年度会計報告

(単位 円)

収入の部			
項目	予算額	決算額	差引額
前年度繰越金	153,624	153,624	0
会費	510,000	429,000	▲81,000
		88会費 14人 89会費 113人 (うち新規 9人) 90会費16人 143人×3000	
寄付金その他の収入	10,000	73,929	63,929
		広告料 20,000 寄付金 7,000 会誌売上 38,670 利子 8,259	
合計	673,624	656,553	▲17,071

支出の部			
項目	予算額	決算額	差引額
事務経費	130,000	59,520	70,480
印刷費	(20,000)	(14,935)	
通信費	(90,000)		
事務用品費等	(20,000)	(27,010)	
選管費用		(17,575)	
幹事会開催費	100,000	76,889	23,111
出版費	280,000	130,138	149,862
会報発行費	(100,000)	(130,138)	
		内 訳	
		5号 33,000	
		6号 56,060	
		7号 41,078	
学会誌発行費	(180,000)	(0)	
会員名簿費	20,000	12,360	7,640
総会費	50,000	50,000	0
分科会経費	20,000	20,863	▲863
記念事業費	0	0	0
予備費	73,624	0	73,624
合計	673,624	349,770	323,854

次年度への繰越額 実収入額656,553円-実支出額349,770円=306,783円

監査の結果、上記計算書は日本看護歴史学会の平成元年度の収支を適正に表示していることを認める。

平成2年8月16日

会計監査 松田比佐子 甲斐道子

日本看護歴史学会 1990年度予算

(単位 円)

収入の部			
項目	予算額	摘要	前年度予算額
前年度繰越金	306,783		153,624
会費	450,000	150人×3,000	510,000
			170人×3,000
寄付金その他の収入	10,000		10,000
合計	766,783		673,624

支出の部			
項目	予算額	摘要	前年度予算額
事務経費	80,000		130,000
印刷費	(20,000)		(20,000)
通信費	(40,000)		(90,000)
事務用品費等	(20,000)		(20,000)
幹事会開催費	100,000	3年/1回	100,000
出版費	300,000		280,000
会報発行費	(120,000)	年3回	(100,000)
学会誌発行費	(180,000)	年1回	(180,000)
会員名簿費	0		20,000
総会費	50,000		50,000
分科会経費	20,000		20,000
予備費	216,783	前年度学会誌発行費(18万円)未執行分含む	73,624
合計	766,783		673,624

88-034 87-140 87-069 87-015 とみなされま...
 88-035 87-148 87-075 87-016 本会は、会費によって運営されています。論
 87-157 87-076 87-018 文発表の場も保障されています。積極的な活動
 87-158 87-079 87-027 とともに会費納入もお願ひします。
 87-161 87-083 87-028 参考までに89年度会費未納者番号をお知らせ
 88-002 87-085 87-031 します。
 88-005 87-087 87-039 本会は、会費によって運営されています。論
 88-007 87-092 87-041 文発表の場も保障されています。積極的な活動
 88-008 87-099 87-049 とともに会費納入もお願ひします。
 88-009 87-112 87-056 参考までに89年度会費未納者番号をお知らせ
 88-012 87-113 87-059 します。
 88-015 87-115 87-063 本会は、会費によって運営されています。論
 88-020 87-116 87-065 文発表の場も保障されています。積極的な活動
 88-026 87-127 87-067 とともに会費納入もお願ひします。
 88-033 87-132 87-068 参考までに89年度会費未納者番号をお知らせ
 87-154 87-081 87-017 す。
 87-155 87-103 87-020 79名とそれぞれ14%、35% (91・5・2現在)
 87-159 87-104 87-043 となっております。
 87-105 87-047 '88年度会費未納の方の会員番号は次の通りで
 87-106 87-051 87-107 87-053
 87-108 87-054 87-111 87-058
 87-129 87-061 87-131 87-064
 87-136 87-072 87-139 87-073
 87-142 87-074 87-143 87-077
 87-146

(参考) 三年滞納者番号
 会費振込みは
 京都一五二一八五へ
 (年会費 3,000円)

以上
(会計)

テレカ販売収支決算報告(単位 円)

収入の部	
テレカ売上代金	3,236,310
預金利息	2,376
小計	3,238,686
支出の部	
製作費	3,1765
通信費	8,775
N T T 支払	2,581,800
残額	616,346

写真展会計報告(単位 円)

'88 3. 8	本会より	100,000
7. 13	京都府看護協会 (協力金)	200,000
2/18~4/1	寄附金	1,125,645

写真展収支決算

収入総計	1,425,645
支出	909,444
残額	516,201

看護婦百年のあゆみ写真展の会計報告について

去る一九八八年、近代看護婦発祥百年を記念して本会が開催した標記の写真展は、既報のように成功裡に終わることができました。その決算報告は、昨年夏の本会総会の席上で行ない、皆様方の御承認を得ております。尚、残額約五一万円は、記念アルバム作成を求め声が多かったことから、その製作費として運用し、写真展に寄附金をお寄せ頂いた方々(二千元以上)にお贈りするとともに、残部を一部七百円でお頒けしていただきますことを補足、御報告いたします。

テレカ発行の会計報告

看護婦百年記念テレカの作製販売についての収支決算報告は上記のとおりです。尚、当初の予定が大幅に変更し、発行枚数四千枚となり、収益約六一万円を得るに至りましたが、これについては、例えば、今回の保健婦五〇年記念事業等に対する別会計用として運用することが了承されております。

故洲脇絢子氏の遺稿集について

昨年六月六日、本会幹事であった洲脇絢子氏が四八歳の若さで昇天されましたが、病床にある氏はずっと自分史を出版することを希望され、亡くなる直前まで原稿を書かれました。今回、看護の科学社より『病める人々へのテストメン トーがんで逝った看護婦』(一四〇〇円)として発刊されましたのでお知らせいたします。

日本看護歴史学会会報第九号

発行責任者

〒558 大阪市住吉区帝塚山東二一

一四一

大阪府立看護短期大学内

依田 和美

編集責任者

亀山美知子・青木うめ子

日本看護歴史学会事務局

〒615 京都市右京区西院月双町

一一一マンハイム五条三〇九

亀山方

ナース切手帳

◎世界の切手に

描かれる看護婦の姿◎

元成田赤十字病院名誉院長

渡邊進 遺稿

B5判/定価二、三〇〇円

世界各国で発行されたナース切手を収集して知られる渡邊進切手コレクションの中から美しく価値のあるものを選び、病院内看護など世界の看護婦さんの活躍する姿を分類、ノート形式に編集。看護歴史の研究者、現職のナース、看護学生など必見必読の書。乞うご購読を

◎高山盈の生涯

A5判/一、五〇〇円

心の色は赤十字

初代の看護婦監督

前日本赤十字看護大学図書係長

本会会員 吉川 龍子著

日本赤十字看護婦の育成に努め

日清戦争・北清事変の戦時救護

に取締として従事し、看護婦の

社会的評価を高めるのに尽力し

た女性の伝記。

蒼生書房

東京都千代田区神田駿河台三一

二 山崎ビル

電話〇三(三三二五)二三八九

FAX 〇三(三三二五)二三九三